

40TH

ANNIVERSARY
CELEBRATIONS

清流館 山縣道場

今までもこれからも



日本伝講道館柔道



2023年 主な試合結果報告

静岡県東部少年柔道大会新人戦

小学生5・6年生の部 団体戦 優勝

静岡県小学生 個人戦

6年生男子 優勝 / 4年生女子 優勝

生徒さん募集中です。

Seiryukan

指導者のご紹介



理事長 山縣 哲夫 先生



理事 深谷 利彦 先生



理事 大庭 洋行 先生



館長 山縣 司 先生



若き指導者

清流館山縣道場

40年の道場ものがたり



裾野市上原区にある清流館 山縣道場が今年で 40 周年を迎えることができました。関係者の皆様方、日頃のご指導、ご支援、本当に感謝しております。

(雑誌で掲載された記事を一部引用し道場の歴史の紹介をさせていただきます)

この地に清流館 山縣道場ができて今年で 40 年になります。

親子二代で営まれる個人道場です。

開設者・山縣哲夫は深良中学生時代、部活動とは他に柔道と出会い片道 50 分かけて暗い夜道を歩き町道場まで通い心身を鍛錬してる中で「いつの日か自分で道場を創りたい」という夢を抱くようになりました。

やがて中学校の教師となり、35 歳の時に道場を創設し小中学生を対象とした、公立教育の域を超えた指導を探求しました。

思いの詰まった道場は **共に清い汗を流す意味を込めて『清流館』**と名付けられました。この清流館の名は上原在住の大庭先生と長泉在住の深谷先生と 3 人で考え命名されました。



40年前の道場開き 当時理事長 35 歳・館長 4 歳

教員時代は町道場をすることは公立の教員として前例がなく、よく『二足のわらじを履いて大丈夫か?』と心配されました。

もちろん、公立の教員ですからボランティアでしかできず、そのうえ指導者は皆、仕事も忙しく悪戦苦闘でしたが、時に指導者がいない時には今の館長のお母さんが体操の指導をするなどして、どうにか 40 年も続ける事ができました。

練習は週 2 回、夜の 7 時から 9 時まで。数年後には団体戦の試合で **上原区の小学生 5 名でチームを作り優勝** するという嬉しい事も

ありました。

学校の先生が営んでいることもあり、次第に長泉、御殿場、沼津、三島市からもクチコミで生徒は増え、この 40 年間で清流館から **巣立った子供は 300 名以上** を数えるまでになりました。

そのなかには不登校や学習障害といった学校教育では十分な対応を望めない子供たちも含まれています。こうした子供たちにも分け隔てなく指導を行い、練習内容は 50 畳ほどの小さな道場で、指導者が分担して目を配り、掃除・柔道・礼儀礼節の教えを行う事でした。

長女あづさが中学 2 年生で成人女子の静岡県代表となり大学まで全国で活躍、長男は柔道整復師となる中、**20 年前に次男の山縣 司**が 24 歳で新館長 となりました。

館長は小学校卒業後に親元を離れ、静岡市、神奈川県、東京で柔道の選手をしながら指導方法を取得しました。

館長は一流選手を育てる事と、海外も視野に入れた柔道の美しさを身につけさせる事を考えました。中学時に世界大会で死闘を経験し、15 歳の子供が国を代表して闘い言葉はわからずも試合の後は笑顔で抱き合った事は大きな経験でした。

現在は、館長より若い先生方が軸となり次世代の道場へと進んでいます。週 2 回と少ない練習量で 今年は、**県大会個人戦で 2 名の小学生が優勝** する好成績を残すことができました。

日々の送迎をしてくれる父母の苦勞と感謝もあります。



館長 山縣 司の小・中学生時代



小学生時代
小学 5.6 年 2 年連続
静岡県大会団体 2 位



東海大学第一中学時代
団体戦、先鋒として県大会、東海大会
全て一本勝ちし全国大会出場へ



中学 3 年
ロシア Jr. オリンピック
65 キロ級で 3 位入賞

清流館山縣道場

日本伝講道館柔道

〒410-1102 静岡県裾野市深良 1764-1

TEL.055-997-2779

練習日：水曜日・土曜日 / 19:00-21:00



WEBSITE

Instagram

